

伊万里地区

1. 伊万里津大橋の大壺^{おおつぼ}

津とは港の意味です。伊万里津はかつて焼物の積み出しで栄えた港でした。ヨーロッパまで渡った焼物は王侯貴族たちに愛好され、競って収集されました。焼物を世界に向けて積み出した伊万里津の地に大橋を整備することになり、当地の歴史を偲び、また伝え残すため、古伊万里の絵柄を描いた大壺を配置して個性ある大橋の修景整備を行いました。川上側は「染錦四季草花文大壺」川下側が「染錦花見風俗絵大壺」です。大壺の規模は高さ 150 cm、最大径が 70 cm で、釉下彩技法で絵付けを施したものです。伊万里津大橋は昭和 61 年（1986）11 月に完成しました。

